8月9日（日曜日）「イエス（2）主キリスト」

【新改訳 2017】

ルカ　　1•31

「ご覧なさい。あなたはみごもって、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい」

ルカ　　2•11

「きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」

　これらから、イエス・キリストとはどうゆう意味かを知ることができます。「イエス」は、マリヤより生まれた、人の子としての名前です。生まれる前から、マリヤにもヨセフにも別々に御使いが告げた名前で、「主は救い」を意味します。「キリスト」はヘブル語の「メシヤ」に相当し、「油そそがれた者」の原義から「救い主」を意味する実質のある称号です。

　「主キリストです」と言われている「主」は、主権者である神を表します。したがって、「イエス」は「主権者キリスト」であり、主なる神であり、救い主であるという宣言になります。世界三

大聖人の一人であるという程度ではありません。まことに神であり、人となり、救い主である方として信じることが本当なのです。

～祈り～

主よ。あなたを、確かに救い主キリストと、正しく、十全に信じることができるように、お助け下さい。

【学びのために】

使徒 4•12 参照。「この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていなからです。」